

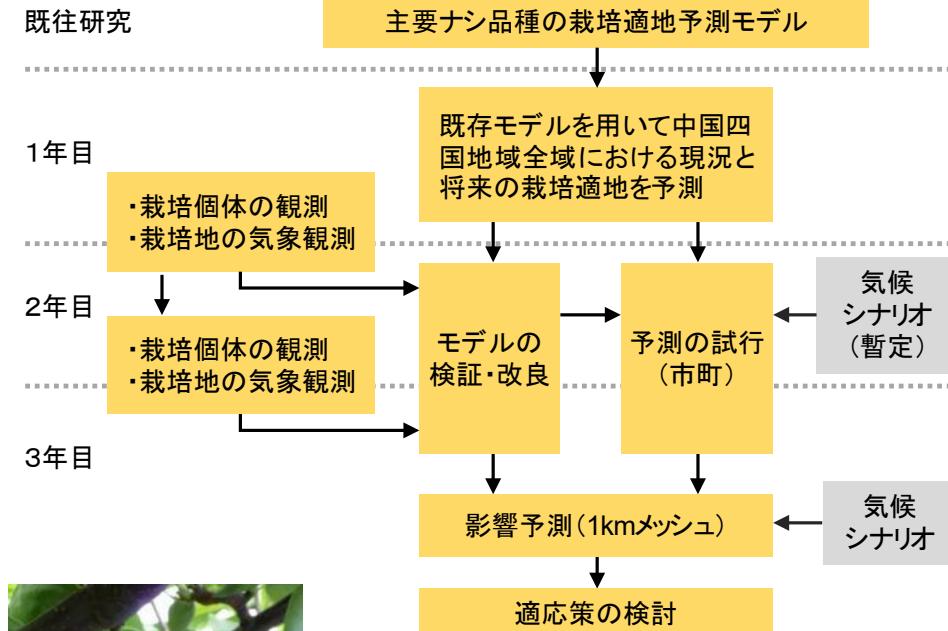
【計画】 5-1 暖冬によるナシ栽培への影響調査

【分野: 農業、対象地域: 中国四国地域全域】

■ 目的

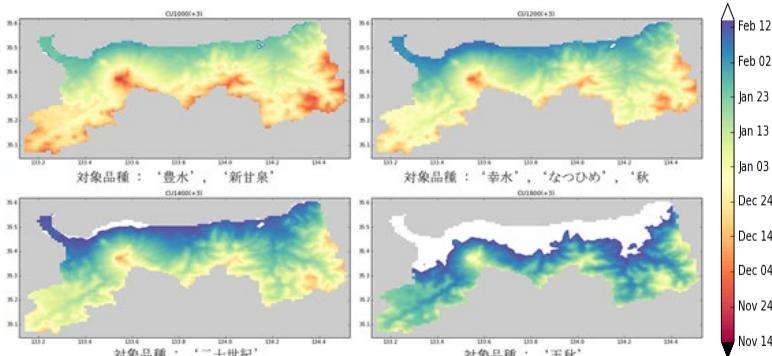
- ・気候変動がもたらす暖冬による低温時間の減少は、ナシの開花不良を通してその生産に影響を及ぼすことが懸念されており、温暖な地域ではすでに被害が生じ始めている。
- ・ナシの自発休眠打破^{※1}に必要な低温積算量^{※2}を指標として、気候変動にともなう主要ナシ品種の栽培適地の変化を予測し、影響の評価と適応策の検討を行う。

■ 調査計画



豊水の果実
(鳥取大学・竹村講師撮影)

鳥取県におけるナシの栽培適地の予測結果(例)



(鳥取大学・竹村圭弘氏作成)

図は自発休眠打破日の予測結果を示しており、白色の場所は展葉・開花しなくなり栽培が不可能になる場所を表す。

■ 実施体制

(株)地域計画建築研究所
(アルパック)

- ・モデル作成に用いる気象データの提供・加工
- ・各種補助、とりまとめ

鳥取大学農学部
生物資源環境学科

- ・栽培株・気象の観測
- ・予測モデル作成、影響予測

各県の試験研究機関等

・観測地の提供など

※1: 自発休眠打破: 十分な低温時間を経験し、展葉・開花が可能となる状態をいう。

※2: 低温積算量: 低温に曝される時間の積算量で、品種により異なる。